PART3 清の動揺と列強の進出

Chapter1　清の動揺と列強の進出

目標　イギリス側からみたアヘン戦争前の清の態度はどういうものか考えよう。
アジア三角貿易において，その流れが重要な金属について理解しよう。

1　清の動揺とヨーロッパの進出

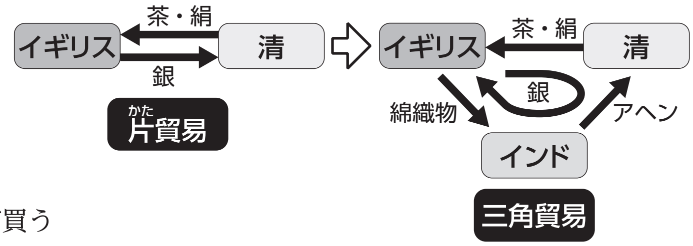
①**白蓮教徒の乱**（1796～1804年）
　爆発的な人口増加・耕地不足を背景に四川などの辺境地域で起きる
②ロシアによるラクスマン派遣（1792年）
　エカチェリーナ２世が極東での貿易拡大をはかる

乾隆帝とマカートニー

③**イギリス**による〔　　　　　　　　　　〕派遣（1792年，清へ）
　〔　　　　〕の**公行**以外との取引を目指し他港の開港など自由貿易を要求。
　※６代**乾隆帝**は貿易を恩恵とみる「中華」の立場を崩さず拒否。
④**イギリス**による**アマースト**派遣（1816年，清へ）

2　アヘン戦争

①**イギリス・中国〔清〕・インド〔ムガル帝国〕**のアジア**三角貿易**（18世紀後半～）
　イギリスは中国から**茶**や絹織物を輸入して〔　　〕を輸出する片貿易を行い，銀が大量に流出して貿易赤字が続いていた（紅茶を飲む習慣が定着していたため）。
　A　イギリスの**綿織物**をインドが買う
　B　イギリス東インド会社のインド産〔　　　　　〕を中国が買う
　C　中国の**茶**をイギリスが買う



貿易の変化の図

②清でアヘンの吸引が広がり密貿易が増え大量に銀流出
　〔　　　　　　〕が**広州**でアヘンを没収・廃棄，イギリスにアヘン貿易禁止を迫る。
③〔　　　　　　〕戦争（1840～42年）

A　イギリスが自由貿易の実現を口実に海軍を派遣

B　イギリスが清を破り〔　　　　〕**条約**を締結（1842年）

あ　〔　　　　〕**島**の割譲

い　**上海**・寧波・福州・厦門・広州の**５港**を開港

う　**賠償金**（没収アヘンの補償・軍事賠償）の支払い

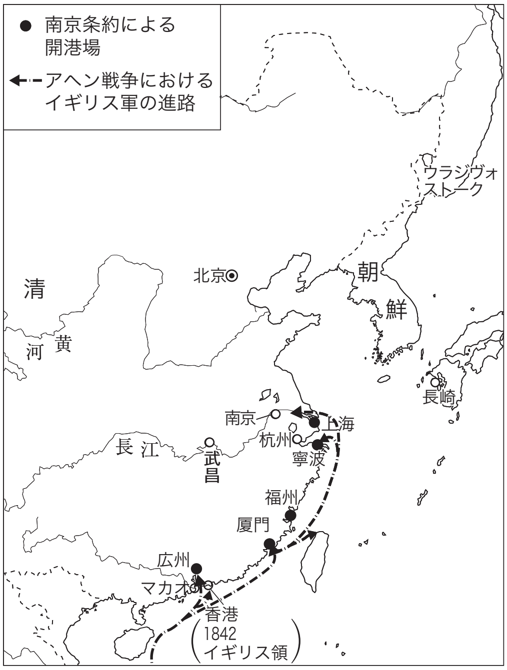
え　**公行の廃止**

④イギリスと五港〔五口〕通商章程・虎門寨追加を締結（1843年）

片務的**領事裁判権〔治外法権〕・協定関税〔関税自主権の喪失〕・片務的**〔　　　　　　〕**待遇**という〔　　　　　　〕**条約**だった。

⑤アメリカと望厦条約・フランスと黄埔条約を締結（1844年）

⑥イギリスが最初の**租界**を上海に設置（1845年）



アヘン戦争前後の東アジア

アヘン窟

まとめ　東インド会社はあくまでも対等な貿易相手なのに，清は朝貢使節扱いした。
イギリスから中国に流れる銀が，三角貿易で戻ってくるようになった。

Chapter2　清の激動

目標
清の領土に具体的に進出してきた列強３国を知ろう。
太平天国の乱の，中国史における新規性を理解しよう。

1　アロー戦争〔第２次アヘン戦争〕とロシアの東方進出

①［　　　　　　］**戦争〔第２次アヘン戦争〕**（1856～60年）→英仏が清を破る

1856年　**アロー号事件**を契機に**英・仏**が**清**と開戦→広州を占領し天津に迫る

1858年　**天津条約**※

1859年　英・仏が再出兵し北京を占領→円明園の離宮で略奪・破壊を行う

1860年　**北京条約**※

※天津条約・北京条約：**公使**の北京駐在，天津など 11 港の開港，外国人の内地での旅行の自由，キリスト教布教の自由などを認め，**イギリス**に〔　　　　〕**半島南部を割譲**。

②**ロシア**の東方進出→ 19世紀半ばに東シベリア総督ムラヴィヨフが中国への圧力を強化

1858年　**アイグン条約**→黒竜江以北を領有

1860年　**北京条約**→アロー戦争調停の見返りで**沿海州**を獲得。

〔　　　　　　　　　　　　　　〕**港**を開き太平洋進出の根拠地とする。

1881年　**イリ条約**→イリ事件後に清との国境を有利に取り決める。

2　中国国内の激動

①アヘン戦争後の**結社**の結成→ 19世紀半ばに反乱を起こす

華北の捻軍，西北・雲南のイスラーム教徒や貴州のミャオ族

②［　　　　　　　　］（1851～64年）

［　　　　　　］が広東でキリスト教の伝道に接し，自らをキリストの弟と称し**拝上帝会**という宗教結社を創ったことが始まり。広西で挙兵し太平天国となる。

※儒教を攻撃。民間信仰の神々の偶像も破壊。**中国史上初の社会改革を目指した農民反乱**。

A　**南京**を占領し首都として〔　　　　〕と改称（1853年）→のち内部争いで混乱

B　**天朝田畝制度**（＝土地の均分）を打ち出す

C　「**滅満興漢**」を掲げて清朝の打倒を目指す

D　男女平等・辮髪の禁止

E　アヘン吸飲・纏足など悪習の撤廃

③太平天国の敗北（1864年）→漢人官僚が勢力を伸ばす契機となる

A　**郷勇**の活躍→漢人官僚が郷里で組織した義勇軍

〔　　　　　　〕の**湘軍**や〔　　　　　　〕の**淮軍**

B　**常勝軍**が清軍に協力

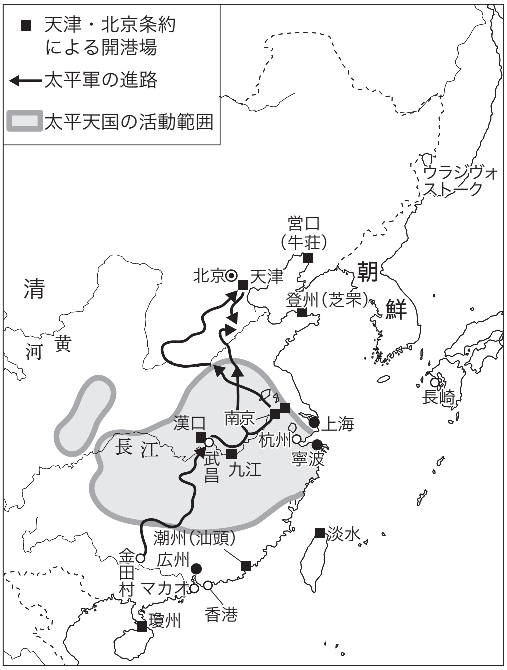
ウォード（米）や**ゴードン（英）**の率いる列強の義勇軍

④**同治の中興**→実権は同治帝よりも母の**西太后**らにあった

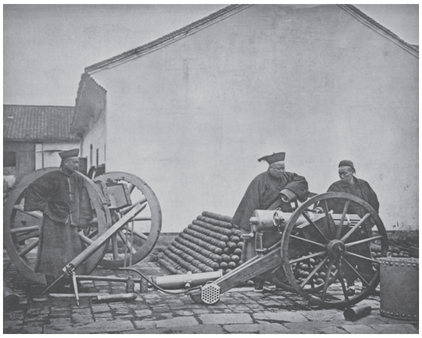
「**中体西用**」の立場から，富国強兵を目指し〔　　　　〕**運動**が行われる。

李鴻章

※曾国藩・李鴻章・左宗棠らが中心。1861年に朝貢関係にない国との外交や技術導入を担当する**総理各国事務衙門**〔総理衙門〕を置いたほかは，伝統的な体制の維持・安定を目指し，国家や社会の制度の大きな変革は目指さない。同時期の日本の近代化に比べれば遅れていた。



アロー戦争前後の東アジア


南京の武器製造工場

まとめ

アヘン戦争後，清にはイギリス・フランス・ロシアが進出した。

太平天国の乱は，社会改革を目指した中国史上初の農民反乱だった。

第3講　PART3　確認問題

1　イギリスが清に派遣した外交官はだれか。

①　ウォード　　②　ゴードン
③　ラクスマン　　④　マカートニー

2　アジア三角貿易において，インドが輸入していたものはどれか。

①　綿織物　　②　絹織物
③　アヘン　　④　茶

3　広州に派遣され，アヘンの密輸を取り締まった清の高官はだれか。

①　林則徐　　②　阮福暎
③　李鴻章　　④　洪秀全

4　アヘン戦争の結果，イギリスと清との間で結ばれた条約を何というか。

①　北京条約　　②　南京条約
③　黄埔条約　　④　天津条約

5　アロー戦争後に結ばれた北京条約の内容として正しいのはどれか。

①　上海など５港の開港　　②　公行の廃止
③　天津など11港の開港　　④　香港島の割譲

6 1858年に清とロシアの間で結ばれた黒竜江以北をロシアが領有するという，国境に関する条約を何というか。

① イリ条約　② アイグン条約
③ キャフタ条約　④ ネルチンスク条約

7 太平天国が打ち出した政策のうち，土地の均分をうたったものは何か。

① 均田制　② 人民公社
③ 屯田制　④ 天朝田畝制度

8 太平天国が掲げたスローガンは何か。

① 扶清滅洋　② 尊王攘夷
③ 滅満興漢　④ 中体西用

9 太平天国を打倒した郷勇のうち，淮軍を組織した人物はだれか。

① 曾国藩　② 全琫準
③ 李鴻章　④ 左宗棠

10 1861年に清が外交事務を行うために設置した機関を何というか。

① 総理各国事務衙門　② 礼部
③ 理藩院　④ 軍機処

第３講　PART3　確認問題 解答

1 解答：④

マカートニーは，広州以外の開港など自由貿易を要求するために派遣された。

①：太平天国の乱の鎮圧で活躍したアメリカの軍人。
②：太平天国の乱の鎮圧で活躍したイギリスの軍人。
③：ロシアが日本に派遣した海軍軍人。

2 解答：①

インドでは，イギリス東インド会社がインド産のアヘンを清に輸出する一方，イギリスの綿織物を輸入していた。

②：イギリスが清から輸入していた。
③：清がイギリス東インド会社から輸入していた。
④：イギリスが清から輸入していた。

3 解答：①

林則徐は，アヘンを没収・廃棄し，イギリスにアヘン貿易禁止を迫った。

②：ベトナムを統一した。
③：清の政治家で，太平天国の乱を鎮圧する淮軍を組織した。
④：太平天国を建国し清朝に対する反乱を起こした。

4 解答：②

南京条約は，香港島の割譲，上海・寧波・福州・厦門・広州の５港の開港，賠償金の支払いなどを内容とする。

①：1860 年，清がイギリス・フランスと結んだ条約。
③：1844 年，清がフランスと結んだ条約
④：1858 年，清がイギリス・フランスと結んだ，アロー戦争の講和条約。

5 **解答：③**　北京条約には，公使の北京駐在，九竜半島南部の割譲なども盛り込まれた。

①：アヘン戦争後に結ばれた南京条約の内容。
②：アヘン戦争後に結ばれた南京条約の内容。
④：アヘン戦争後に結ばれた南京条約の内容。

6 **解答：②**　アイグン条約により，ロシアは黒竜江以北を領有することになった。

①：1881 年に清とロシアの間で結ばれた，ロシアに有利な国境に関する条約。
③：1727 年に清とロシアの間で結ばれた国境に関する条約。
④：1689 年に清とロシアの間で結ばれた国境に関する条約。

7 **解答：④**　天朝田畝制度は，太平天国の平等思想に基づいて提唱された。

①：隋・唐における土地公有を原則とした土地制度。
②：中華人民共和国の社会主義建設の柱とされた集団農場。
③：漢における生産物を地代としてとる土地政策。

8 **解答：③**　滅満興漢は，満州人王朝である清を滅ぼし，漢人の王朝を復興するという意味。

①：1889 年に起こった義和団の乱のスローガン。
②：江戸時代末期（幕末）に高揚した日本の思想。
④：清朝末期の改革運動である洋務運動の理念。

9 **解答：③**　李鴻章は，太平天国の乱後，高官として洋務運動を進めた。

①：湘軍を組織し，後に洋務運動を進めた高官。
②：甲午農民戦争の農民指導者。
④：太平天国の乱の鎮圧で活躍し，後に洋務運動を進めた高官。

10 解答：①　総理各国事務衙門は，朝貢関係にない国との外交や技術導入を担当した。

②：唐において尚書省の管轄下にあった行政機関。
③：17 世紀に，ホンタイジ（太宗）が征服地を統轄するために設置した機関。
④：18 世紀に，雍正帝が設置した軍務機関。